



旅行から戻られてからは言葉も食も増え、以前よりお元気に。



宿や病院の情報を集め、連絡する日向GMと八戸SSM。八戸SSMは「何かを諦めて入居されるゲストもおられるけれど、諦めたことを取り戻せる場所にしていきたい」と。



「体調がよくなる時期を待って旅行の機会を逃してしまうより、急変のリスクをご家族が理解された上で協力していたら、行かせてあげたいと思った」と露崎NS。



居室で足浴をしながら照子さんとおしゃべりする郡山SCAM。「また旅行に行きたいですね」とお声をかけると、「行きたいです〜」と気持ちよさそうに答える照子さん。



旅行に使う車椅子を検討する根本CAM(左)と平野CM(右)。「介護と医療の熟練スタッフが揃っているから、確実なプランが出せる。恵まれた環境なのです」と平野CM。

生 life 医 medical 介 care 計 plan

旅行当日まではCAスタッフ全員で照子さんの体調を特に注意深く管理。行きの中はぐっすり眠り、疲れもみえない。お楽しみの入浴は郡山SCAMが、ご家族とのコミュニケーションや食事は根本CAMが担当した。夜は照子さんを中心にCA2人が手をつないで川の字になって眠り、2時間毎に体位交換を行った。夜中3時に少し発熱されたが、すぐに氷でクーリングして事なきを得た。朝食もしっかりと召し上がり、帰宅後も体調を崩さず、大成功の温泉旅行となった。「畳の上で気持ちよさそうに眠られるお顔や、お風呂でのくつろいだ表情から

情報を集めた露崎NSの指示を基に、日向GMが温泉宿の候補を絞る。「温泉街の風情も楽しんでいただくなら鬼怒川がいいかなと思いましたが、今回は鴨川のホテルに決めました。近くに救急搬送可能な病院があるのも絶対条件でしたね」
八戸SSMが宿への連絡やペースト食の依頼、介護タクシーなどの手配を担当。平野CMが移動に使う車椅子や、旅先で必要な用品を検討した。アイスノン、トロミ剤、滑り止めバスマット、服用している薬などを記した医師の情報提供書など、あらゆることを予測しながら準備は進んだ。

住宅型有料老人ホーム
グッドタイムリビング
千葉みなと/駅前通



- 24時間安心の介護連携
- 医療機関との連携
- 共用施設の利用 (グッドタイムクラブの利用)

専有面積 約18m²(約5.6坪)~42m²(約12.6坪)

お一人様タイプ料金の一例

費用	入居時	8,100,000円
(税込)	月額	249,075円

旅行に行つて本当によかったと思えました。今では前よりも元気が出て、昔のことを思い出したりもされるように」
根本CAMは「GMもスタッフも、何を相談してもNOと言わない、やろうって言うってくれる前向きな人たち。最強のチームワークでゲストの願いをこれからも叶えていきます」



要介護度5のゲストであっても家族と温泉旅行を楽しんでもらいたい。その願いを叶えたいと、みんなが力を合わせた。

『グッドタイムリビング千葉みなと/駅前通』 万全の体制で臨んだ ご家族との温泉旅行



照子さんの旅行の計画のために「グッドタイムリビング千葉みなと/駅前通」の敏腕スタッフが集結。右からケアプランを担当する平野由起子ケアマネージャー(CM)、郡山由紀サブケアアテンダントマネージャー(SCAM)、支配人の日向雅史ジェネラルマネージャー(GM)、根本有紀ケアアテンダントマネージャー(CAM)、露崎玲子ナース(NS)、事務の八戸正美サブサービスマネージャー(SSM)。



日々、ゲストと接し、時にはゲストのご家族の代弁者としてスタッフを教育し、まとめる根本CAMの元に、あるご家族から相談が入った。女社長として仕事一筋だった照子さんが、今は最も重い要介護度5の状態。でももう一度、最後になるかもしれない温泉旅行へ連れて行きたい。その頃の照子さんは活力も体力もなく、食事をしてはなかなか飲み込めない状態だった。そして季節は冬に。今

いつ何が起きてもおかしくない状態のゲストと旅行に行くこと自体が無謀のようにもとられるが、「要介護度5の方を旅行にお連れするのは、これからはあると思います。初めての経験ですが、消去法で考えるのではなく、リスクを回避しながらどうやって楽しんでいただくか?と、いろいろプランが浮かんでしまつて。ゲストがお望みなら海外にだって行きますよ!」と郡山SCAMは元気に応える。移動は片道2時間以内、近隣病院の

は行くべきではないかもしれないが、春を待ついたらチャンス逃すかもしれない。根本CAMは、「ご家族の思いを実現させたいと日向GMに相談する。」
「いいね!なんとか皆でやりましょ!」と日向GMが真っ直ぐ受け止め、敏腕スタッフたちが計画に向けて動き出した。
「もちろんリスクはありますが、万全の体制を整えてご家族と協力し合えば、必ず実現できると思えました。ただ、医療面が一番心配なので、ナースと綿密な相談をしましたね」と根本CAM。
「照子様は発熱や骨折の可能性が高く、ゲストハウスの中でも急変する可能性はあった。急変が怖いのではなく、急変した状態や状況を正しく把握、処置することが大事」と露崎NS。判断力と行動力のある熟練のケアアテンダント(CA)である根本・郡山の2人体制をとるならば、ナースが同行しなくても大丈夫と皆で判断した。